

## 社会全体の現状と変化

将来の予測が困難なVUCAの時代 / 少子高齢化 / 人口減少 / グローバル化 / DX / AI / ロボット / 脱炭素 / 共生社会 / 社会的包摂精神的豊かさの重視 (ウェルビーイング) / 18歳成年 / 子ども基本法 等

## これからの時代を生きていく子どもたちに必要なこと

- ・ 未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく。
- ・ 変化や困難に柔軟に対応し、乗り越える力 (レジリエンス) を高め、多様な個人が幸せや生きがいを感じる。

## 加茂市の現状と課題

豊かな自然環境と伝統工芸品 / 人口減少と少子高齢化 / 市人口の流出 / 2028年中学校1校・2030年小学校2校へ統合 / 将来の夢や目標を持たせる 等

## 加茂市で育てる子ども像

未来の創り手として 自ら学び続け 心豊かに たくましく生きる ふるさと加茂を愛する子

## 目指す子どもの姿

- 『未来の創り手として』に込める姿  
 I 「自ら学び続け」に込める姿  
 II 「心豊かに」に込める姿  
 III 「たくましく生きる」に込める姿  
 IV 「ふるさと加茂を愛する」に込める姿

社会の変化に対応し、課題を解決する  
 主体的に課題に向かう  
 互いの生命や人権を尊重する / 多様性を尊重し、互いに認め合う  
 心と体の健康に対する理解と体力を高める  
 加茂市の良さを知り、地域のために行動する / 夢と志をもって、挑戦する



### I 学び続ける

#### I-1 ワクワクする授業づくり

「探究的な学習活動」を展開し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させることで、子どもたちが学ぶ楽しさを実感し、自ら学習を調整する力や主体的に課題へ向かう力を育む。

#### I-2 いつでも学べる環境の整備

校内に放課後学習できるスペースを確保し、子どもたちの学習 (予習・復習・補充) を支援する。

また、多様な学びのニーズに対応するため、教室以外の学習環境 (SSR 等) の整備に努める。

※地域人材や学生等のボランティアの活用

### II 心豊かに

#### II-1 体験活動・交流活動の充実

学校周辺及び加茂市全体の自然等を生かした体験活動を充実させる。また、地域・学校間 (大学・高校・幼稚園・保育園) との交流学習を充実させる。※統合前の学校間交流

#### II-2 人権教育・道徳教育の充実

教育活動全体を通じた、互いの生命や人権を尊重する教育を推進する。特に「道徳科」の授業では、多様な視点で話し合い、自己の生き方を見つめる活動を充実させる。※考え、議論する道徳

#### II-3 安心して過ごせる学校づくり

子どもの自己肯定感と自己有用感を高める教育活動を展開し、子ども一人一人が、安心して活躍できる居場所 (学級等) をつくる。※授業経営・学級経営

### III たくましく生きる

#### III-1 食育の充実

地域の生産者と協働したふるさとメニューや、子どもの学習内容と関連付けたメニューを開発するなど、「食」や「健康」への意識を高める授業を展開する。

#### III-2 部活動の地域移行推進

令和8年度に、土日 (休日) の学校部活動を無くし、地域クラブ活動へと完全に移行するための環境を整える。

※教育委員会主催「かもんクラブ」への理解・協力

#### III-3 防災教育

地域で起こり得る災害を想定した避難訓練を行うなど、「生きて働く防災教育」を実施する。※子どもたちが、加茂市総合防災訓練に自主的に参加

### IV 地域貢献

#### IV-1 地域探究学習「加茂学」の実施

「加茂学」モデルカリキュラムの実装 (中学1年) を含め、総合的な学習の時間を柱とした地域学習カリキュラムを充実・洗練する。

※持続可能な地域リソースの確保

#### IV-2 キャリア教育

地域の人材や企業を活用したキャリア教育を実施し、子どもたちの将来の夢 (視野) を広げる。

※アントレプレナーシップ教育等

#### IV-3 ボランティア活動の充実

地域貢献の心を育てる学習の集大成として、具体的な行動 (発信) につなげる。

※新たなボランティア活動の開発等

## そのほかの努力事項

- 加茂市全体を多様な学びの場所に… 学校の枠をこえた「加茂市学びのフィールド構想」の推進
- 幼保小中連携の推進… 子どもの連続した育ちや学びについて情報交換の仕組みの構築
- 論理的思考力を伸ばす教育の推進… 読解力の育成、STEAM教育の充実